

VOX

JamVOX

Jam and Practice Tool for Guitar

取扱説明書



目次

クイック・スタート	1
Step1 ギター・プログラムのサウンドを聴いてみましょう	1
Step2 曲を再生してギター・パートをキャンセルしてみましょう	2
Step3 曲と一緒に演奏してみましょう	3
ギター用カラオケ・トラックCDの読み込み方法	3
基本操作	4
ノブ	4
フェーダー、スライダー	4
スイッチ、ボタン	5
▲/▼ (Inc/Dec) ボタン	5
ポップアップ・メニュー	5
各部の名称と機能	6
演奏	8
ギター・プログラムを選ぶ	8
プログラム・セレクト・ボタンによる選択	8
ポップアップ・メニューによる選択	8
ライブラリによる選択	8
JamVOX-Onlineからギター・プログラムをダウンロードする	9
ギターを弾かずにギター・プログラムの音色を確認する - オーディション機能	9

ギターを演奏する	10
ギターをチューニングする - TUNER	10
接続したギターのキャラクターを変える - PICKUP SELECTOR	10
プログラム全体の音量と定位を調整する - MIXER	11
メトロノームを使う - METRONOME	11
マイクを接続する	12

音作り

13

音作りをする	13
ギター・プログラムの構成	13
プリセット・プログラムを元に音を作る	13
新しくサウンドを作る	13
エディットしたプログラムと元のプログラムを比較する - コンペア機能 ..	15
現在の設定を一時的に保存する - スナップショット機能	15
ギター・プログラムを保存する	16
上書き保存 Save	16
新規保存 Save As	16
JamVOX-Onlineへギター・プログラムをアップロードする	16

ライブラリ/リスト	17
各部の名称と機能	17
ライブラリ	17
メイン・リスト	17
データを追加する	18
メニューから曲を追加する	18
ドラッグ&ドロップで曲を追加する	18
CDから曲を読み込む	18
iTunesライブラリの曲を読み込む	18
ToneLab LEのプログラムを読み込む	19
ライブラリ/リストを使いこなす	19
データを検索する	19
情報を編集する	20
メイン・リスト上に表示させる項目を設定する	20
リスト上のデータを並び替える	21
ミュージック・プレーヤー	22
曲の再生	22
ライブラリに追加した曲を選択して再生する	22
曲を巻戻す/先送りする	22
曲の音量などを調節する	23
曲のピッチを変える	23
曲のテンポを変える	23
1曲または複数の曲を連続再生する	23
曲を区間ループ再生する	23
曲の再生中にギター・プログラムを切り替えるーオート・チェンジ機能	24

レコーディング	26
GXT (Guitar XTracktion) 機能	27
GXTのパラメーター	27
ミュージック・プレーヤー	27
GXTエディット・パネル	27
GXTの設定方法	28
ギター・パートをキャンセルする	28
ギター・パートの抽出/強調	29
GXTプログラムを保存する	30
上書き保存 Save	30
新規保存 Save As	30
JamVOX-OnlineからGXTプログラムをダウンロードする	30
JamVOX-OnlineへGXTプログラムをアップロードする....	31
オプション・ペダル/スイッチの設定	32
ペダルによるコントロール	32
エクスペッション・ペダルの設定	32
フット・スイッチの設定	33

環境設定	35
一般	35
起動	35
基本操作	35
表示	35
ギター・プログラム	36
スナップショット機能	36
GXT	36
プレイヤー	36
ピッチ・チェンジ機能	36
テンポ・チェンジ機能	36
録音	36
ハードウェア	37
JamVOX-Online	37
JamVOXアカウント	37

Step2 曲を再生してギター・パートをキャンセルしてみましょう



1 コンピューターに保存されている曲を、メイン・リストヘドラッグ&ドロップして、ライブラリに追加してください。

▲ ライブラリに追加/再生できる曲の形式は、**WAV** (.wav/.wave)、**AIFF** (.aif/.aiff)、**MP3** (.mp3)、**Windows Media Audio** (.wma、Windowsのみ対応)、**AAC** (m4a、QuickTime7がインストールされている場合に対応)です。DRM (デジタル著作権管理) で保護された曲は再生できません。

2 追加した曲の名前をダブルクリックしてください。
曲が再生されます。

HINT 音量の調節は、ミキサーの右側のフェーダーで行います。

3 プログレス・バーのポインターをドラッグして曲のギター・ソロ部分を探し、再生してください。

4 GXT ボタンをクリックしてください。
ギター・ソロがキャンセルされて再生されます。

HINT ギター・ソロのミックスのされ方によって、キャンセル効果が変わってきます。GXTエディット・パネルでグラフのポインターやグレー・エリアをドラッグして、キャンセル効果を調整してみてください。

HINT GXTエディット・パネルのExtractボタンで、ギター・ソロを抽出/強調して再生することができます。音程を変えずに再生スピードを落とすことができるテンポ・チェンジ機能とあわせて使うと、練習に便利でしょう。

GXT エディット・パネル




Step3 曲と一緒に演奏してみよう

あとは、曲に合わせてギターを弾くだけです!

曲と演奏は、録音ボタンをクリックするだけで簡単に録音することができます。

HINT ミキサーの右側のフェーダーで曲の音量、LOUDNESS ノブで曲の高音と低音の強調、左側のフェーダーでギターの音量、PAN ノブでギターの定位を調整することができます。

 再生している曲によっては、LOUDNESS ノブを上げると歪むことがあります。その場合はフェーダーを下げてください。


HINT 再生スピードを変えずに音の高さを変えることができるピッチ・チェンジ機能を使えば、曲のピッチをギターのチューニングに合わせることができます。レギュラー・チューニングで半音下げチューニングの曲を弾く場合にも便利です。

JamVOXは、この他にも、曲のループ再生、ギター・プログラムのオート・チェンジ、各プログラムのダウンロード/アップロード等々、数多くの便利な機能を搭載しています。

ギター用カラオケ・トラックCDの読み込み方法


バンドルされているギター用カラオケ曲のCDをJamVOXソフトウェアに読み込む場合、以下の手順で行います。

1 コンピューターにCDを挿入します。

 通常、Windowsでは実行する動作を選択するダイアログが表示され、MacではiTunesが起動します。ここでは、これらは使用しませんので閉じてください。

2 ファイル・メニューから「CD の読み込み ...」を選択します。

CD 読み込みのダイアログが表示されます。ダイアログには、CDに収録されている曲名やアーティスト名等が表示されます。


 曲名やアーティスト名等が表示されるのは、このバンドルCDのみです。他のCDを読み込む場合は、読み込み後にJamVOXソフトウェアで曲名やアーティスト名等を入力してください。

3 読み込みたくないトラックをクリックしてチェック・ボックスを外します。

NOTE 読み込むオーディオ形式を変更したい場合は、環境設定ダイアログで設定を変更してください。

4 ダイアログの右下の「読み込み」ボタンをクリックします。

読み込みが完了するまでしばらくお待ちください。

 CD/DVDドライブが外付のWindowsコンピューターでは、JamVOXソフトウェアでCDを読み込むことはできません。CDの読み込みが可能な他のソフトウェアで読み込んだ曲をJamVOXソフトウェアに追加してください。

基本操作

JamVOXのコントローラーやパラメーターは、コンピューターのマウスやキーボードを使って以下のように操作します。

ノブ



ドラッグ

値を調整します。ドラッグの方法は、オプション・メニューの環境設定の“ノブの操作方法”の設定によって異なります。初期設定は直線に設定されています。

マウスのホイール

カーソルをノブやフェーダーなどに重ねると、マウスのホイールで値が調整できます。

コンピューターの[Shift]キーを押しながらドラッグ

値を微調整します。

ダブルクリック

初期値に戻ります。

NOTE 初期値とは、工場出荷時の値や設定です。

コンピューターのキーボードで調整する

ノブをクリックして選択し、コンピューターの上下左右カーソル・キーで値を調整します。上下キーでは粗調整、左右キーでは微調整です。

パネル上に複数のノブが横一列に並んでいるときは、コンピューターの[tab]キーを押すと、操作対象が右側のノブに移ります。[Shift]キーを押しながら[tab]キーを押すと、操作対象が左側のノブに移ります。

フェーダー、スライダー



フェーダー/スライダーをクリック

クリックした位置に対応した値が設定されます。

フェーダー、スライダーを上下または左右にドラッグ

値を調整します。

マウスのホイール

カーソルをノブやフェーダーなどに重ねると、マウスのホイールで値が調整できます。

コンピューターの[Shift]キーを押しながら、フェーダー、スライダーを上下または左右にドラッグ

値を微調整します。

値をクリック

コンピューターのキーボードで数値を入力します。

ダブルクリック

初期値に戻ります。

コンピューターのキーボードで調整する

フェーダーやスライダーをクリックして選択し、コンピューターの上下左右カーソル・キーで値を調整します。上下キーでは粗調整、左右キーでは微調整です。

フェーダーやスライダーが複数で横一列に並んでいるときは、コンピューターの[tab]キーを押すと、操作対象が右側のノブに移ります。[Shift]キーを押しながら[tab]キーを押すと、操作対象が左側のノブに移ります。

コンピューターの[Alt]キー (Mac: Shift+Option[alt]キー) を押しながら、フェーダー、スライダーを上下または左右にドラッグ

マウスを動かす速度によって値を調整できます。[Shift]キー+ドラッグと同様に、微調整をマウス操作のみで行うことができます。設定値を大幅に変更するときなどに、マウスを通常で動かして設定値に近づけます。設定したい値の付近でマウスをゆっくり動かして微調整します。

NOTE この機能は、値の設定範囲が広く、ドラッグ幅が小さいフェーダーやスライダーのみ可能です。

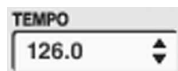
スイッチ、ボタン



クリック

クリックするたびに設定が切り替わります。

▲/▼ (Inc/Dec) ボタン



クリック

クリックするたびに値が増減します。

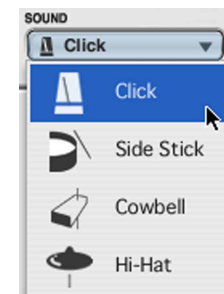
プレス

値や設定が連続的に増減します。

ポップアップ・メニュー

▼をクリック

表示されるメニューから設定を選びます。



各部の名称と機能



1. VOXロゴ

クリックすると、アバウト画面が表示されます。バージョンを確認できます。

2. プログラム・セレクト (プログラム名、△/▽ボタン)

プログラム名を表示、選択します。

3. ユーティリティ・ボタン

Saveボタン、Compareボタン、Auditionボタンなどの、ギター・プログラムの様々な機能に関するボタンが配置されています。

4. Tube (Valve)

真空管を表示します。選択しているアンプ・モデルに従って、真空管の種類や本数が変わります。また、アンプ・モデルの“VR GAIN”の設定によって発光のしかたが変わります。

5. PICKUP SELECTOR

ギターのピックアップをシミュレートします。

6. エフェクト・ルーティング

エフェクト・ルーティングは、アンプ・モデル、各エフェクト・モジュールの配置を変更できます。

7. アンプ/キャビネット・コントロール・パネル

アンプ・モデルの選択と調整、キャビネット・モデルを選択します。

8. エフェクト・コントロール・パネル

エフェクト・ルーティングで選択しているエフェクト・モジュールを表示します。表示されているエフェクト・モジュールのパラメーターを変更できます。

9. METRONOME

メトロノームのオン/オフ、テンポ、拍子などを設定します。

10. MIXER

ギター、マイク、ミュージック・プレーヤーの各トラックの音量などを設定します。

11. ミュージック・プレーヤー

曲の再生や録音を行います。

12. ライブラリ/リスト

ミュージック、ギター・プログラム、GXTプログラムを管理します。

13. ファンクション・ボタン

ミュージック・プレーヤーで使用する様々な機能のボタンが配置されています。

14. CPUメーター

現在のコンピューターに対する負荷を表示します。

パーセンテージが80%以上に達する場合は、以下のことを実行してみてください。

- 他のアプリケーションを起動している場合は、それを終了してください。
- オプション・メニューの「環境設定」→「ハードウェア」の“レスポンスを設定”を「遅く」の方向に設定してください。ただし、遅くしすぎると、ギターを弾いてから音が出るまでの反応が遅くなります。

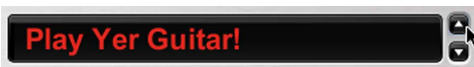
演奏

ギター・プログラムを選ぶ

JamVOXには、100種類以上のプログラムが内蔵されています。
以下の方法でプログラムを切り替えます。

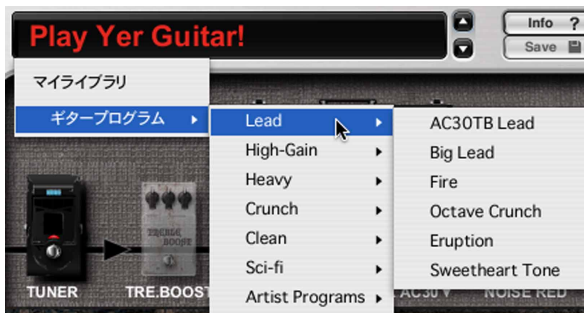
プログラム・セレクト・ボタンによる選択

プログラム・セレクト・ボタンでは、プログラムを1つずつ切り替えることができます。
プログラム名の右にあるプログラム・セレクト・ボタンをクリックします。
マボタンで次のプログラム、△ボタンで前のプログラムが選択できます。



ポップアップ・メニューによる選択

ポップアップ・メニューでは、ギター・プログラム名を確認しながら選択することができます。
プログラム名をクリックして表示されるメニューからプログラムを選びます。



ライブラリによる選択

- 1 「マスター・ライブラリ」で「ギター・プログラム」をクリックして選びます。
コンピューターに保存されているギター・プログラムがメイン・リストに表示されます。



- 2 メイン・リストのギター・プログラム名をダブルクリックして選びます。



HINT JamVOXモニターに接続したオプションのVOX VFS2フット・スイッチでプログラムを切り替えることができます。(※p.32)

JamVOX-Onlineからギター・プログラムをダウンロードする


JamVOXでは、自分で作成したギター・プログラムをJamVOX-Onlineにアップロードしたり、他のユーザーがアップロードしたギター・プログラムを検索し、ダウンロードして使うことができます。

ここではギター・プログラムをダウンロードする方法を説明します。

▲ JamVOX-Onlineの機能を使用するには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

▲ ギター・プログラムの試聴やダウンロードを行うには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録を行っていない場合は検索のみ行えます。

- 1 ライブラリにあるJamVOX-Onlineをクリックして選択します。
メイン・リストに人気のギター・プログラムやGXTプログラムが表示されます。
- 2 使いたいプログラムが表示されない場合は、SEARCH欄に曲名やアーティスト名を入力してコンピューターのReturnキーを押します。
メイン・リストに検索結果が表示されます。思うような結果が得られない場合はSEARCH欄に入力する項目を変更してみてください。

NOTE お気に入りの曲に合ったギター・プログラムをすばやく検索するには、メイン・リストに表示されている「名前」の右側にある虫メガネ・ボタン  をクリックしてください。「曲名」と「アーティスト」が自動的にSEARCH欄に入力され、簡単にギター・プログラムを検索することができます。

- 3 表示されたプログラムをダブルクリックすると試聴ができます。
ユーザー登録を行っていない場合は、表示されるダイアログの指示にしたがって登録を行ってください。
- 4 気に入った場合は、メイン・リストに表示されているプログラムのダウンロード・ボタンをクリックすると「マイダウンロード」にプログラムが保存されます。

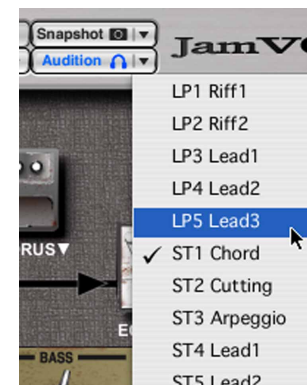
ギターを弾かずにギター・プログラムの音色を確認する ー オーディション機能

オーディション機能は、ギター・プログラム選択時に、ギターを弾かなくても、あらかじめ用意されたオーディション・リフ（ギター・フレーズ）をループ再生して、ギター・プログラムの音色を確認できます。

- 1 プログラム・セレクトの右にあるユーティリティのAuditionボタンをクリックします。
オーディション・リフが再生されます。



- 2 Auditionボタンの右にある▼をクリックして表示されるメニューから、フレーズを選択します。



- 3 再びAuditionボタンをクリックすると、オーディション・リフが停止します。

ギターを演奏する

ギターをチューニングする - TUNER

1 エフェクト・ルーティングのTUNERをクリックして選択します。



エフェクト・コントロール・パネルにチューナーが表示されます。



2 必要に応じて、CALIBボタン(▲/▼)をクリックして、キャリブレーションを設定します。

キャリブレーションは、チューニングするための基準ピッチです(ピアノ中央のラの音 = A4の周波数)。設定範囲は、410 ~ 480Hzです。初期設定では440Hzに設定されています。

3 ギターを単音で弾きながら、合わせたい音名がディスプレイに表示されるように、おおまかにチューニングします。

ディスプレイには、入力した音に一番近い音名が表示されます。

NOTE 音を出さずにチューニングする場合は、MUTEボタンをクリックします。

4 LEDメーターで、ギターを正確にチューニングします。

中央のLEDだけが点灯するようにチューニングします。LEDメーターの点灯は、ピッチが高いときに中央から右へ、低いときに中央から左側に移動します。

接続したギターのキャラクターを変える - PICKUP SELECTOR

ピックアップ・セレクター(PICKUP SELECTOR)は、ギターのピックアップをシミュレートし、接続しているギターのピックアップの音色を変えることができます。

ON/OFF

ピックアップ・セレクターをオン/オフします。

オンにすると、すべてのギター・プログラムに対してピックアップ・セレクターが有効になります。

TYPE

ピックアップのタイプを選択します。

Hum (Humbucker) > Single: ハムバッキングの音色を、シングル・コイルの音色にします。

Single > Hum (Humbucker): シングル・コイルの音色を、ハムバッキングの音色にします。

Half Tone: ハーフ・トーンの音色にします。

Phase Out: ピックアップをフェイズ・アウトさせた音色にします。

TONE

“TYPE”で選択したピックアップ・タイプの音色を調整します。効果はピックアップ・タイプによって異なります。



プログラム全体の音量と定位を調整する - MIXER

ギター、マイク、ミュージック・プレーヤーの各トラックの音量などを設定します。

フェーダー (∞~+6dB)

ギター、マイク、ミュージック・プレーヤーの各出力レベルを調節します。初期設定は0dBです。

ピーク・インジケータ

ギター、マイク、ミュージック・プレーヤーの音量のピークレベルを表示します。

PAN


ギター出力の定位を調整します。

ECHO

マイク出力のエコーを調整します。

LOUDNESS

ミュージック・プレーヤーで再生している曲の低域と高域を強調します。

 再生している曲によっては、LOUDNESSノブを上げると歪むことがあります。その場合はフェーダーを下げてください。

Rec ボタン

レコーディング時にギター、マイク、ミュージック・プレーヤーの各トラックを録音するかどうかを設定します。オフ（消灯）にすると、そのトラックは録音されません（[p.26](#)）

Guitar/Mic/Music ボタン

ギター、マイク、ミュージック・プレーヤーの各トラックのオン/オフを設定します。オフにすると（消灯）、そのトラックは出力されません。



メトロノームを使う - METRONOME

メトロノームのオン/オフ、テンポ、拍子などを設定します。

ON/OFF

メトロノームをオン/オフします。

TEMPO

テンポを調整します。

VOLUME

メトロノームの音量を調整します。

RHYTHM

メトロノームの音符を設定します。

BEATS

メトロノームの拍子を設定します。

SOUND

メトロノームの音色を設定します。

Click: メトロノームのクリック音

Side Stick: スネア・ドラムのサイド・スティック

Cowbell: カウ・ベル

Hi-Hat: ハイハット



マイクを接続する

- 1 JamVOXモニターのMIC IN端子にダイナミック・マイクを接続します。
 - ▲ ダイナミック・マイクのみ接続できます。電源の必要なコンデンサー・マイク等は接続できません。
- 2 MIXERのマイク・トラックがオン(青く点灯)、マイク・フェーダーが0dBの位置にあることを確認します。
MIXERの中央のフェーダーがマイクのフェーダーです。
- 3 JamVOXモニターのMIC INPUT LEVELノブで、マイクの入力レベルを調節します。
マイクに声を入力して、MIXERのピーク・インジケーターが赤く点灯しないように調節します。
- 4 MIXERのフェーダーで、ギター、曲、マイクの各音量のバランスを調整します。
ギターを弾いたり、ミュージック・プレーヤーを再生しながらマイクに声を入力して調整します。

音作り

音作りをする

音作りの方法は、作りたいサウンドに近いプリセット・プログラムなど、既存のプログラムを元に、必要な部分をエディットして目的のサウンドを作り上げていく方法と、白紙の状態（ゼロ）から作り上げていく方法があります。

ギター・プログラムの構成

JamVOXソフトウェアのエフェクトに関するセクションは、大きく分けるとエフェクト・ルーティング、アンプ/キャビネット・コントロール・パネル、エフェクト・コントロール・パネルで構成されています。

ルーティングの中にチューナー、ペダル・エフェクト1、ペダル・エフェクト2、アンプ/キャビネット、ノイズ・リダクション、モジュレーション・エフェクト、ディレイ・エフェクト、リバーブ・エフェクトがあり、アンプ/キャビネット以外のは、ドラッグ&ドロップで自由に接続を変更したり、ルーティング・ラインから外したり、加えたりすることができます。

JamVOXでは、これらのエフェクト・ルーティング、アンプ/キャビネット・コントロール・パネル、エフェクト・コントロール・パネルを使って、アンプの音色やエフェクトをエディットします。



プリセット・プログラムを元に音を作る

既存のプログラムを元に音作りをしていく場合は、作りたいサウンドに近いプログラムを選び、アンプやエフェクトのパラメーターを調整し、目的のサウンドを作成します。例えば、モダンなクラッチ・サウンドを元に、ゲインをアップさせ、もっとラウドな、中域を強調したコンテンポラリーなリード・サウンドを作るといった具合です。

HINT エディット中にJamVOXソフトウェアを終了しても、再起動時にプログラムのエディットの状態を再現できます。(p.35)

新しくサウンドを作る

白紙の状態からサウンドを作成します。

- 1 ライブラリからInitial Programを選びます。
- 2 エフェクト・ルーティングの下にあるアンプ/キャビネット・コントロール・パネルの“AMP”でアンプ・モデルを選択します。



表示されているアンプ・モデル名をクリックして表示されるカタログ、または▲/▼ボタンでアンプ・モデルを選択します。選択したアンプ・モデルによって、パネルのデザインが変わります。

また、エフェクト・ルーティングに表示されているアンプをダブルクリックしたり、アンプ/キャビネット名をクリックして表示されるカタログからアンプ・モデルと推奨キャビネット・モデルを選択することができます。

アンプ・モデルの種類については、「エフェクト・ガイド」(PDF)を参照してください。

アンプ・モデルを使用しない場合は、アンプ・モデル名の左側にあるBYPASSスイッチをオフ(インジケーター消灯)にしてください。

- 3 アンプ/キャビネット・コントロール・パネルの“CABINET”でキャビネット・モデルを選択します。

表示されているキャビネット・モデル名をクリックして表示されるカタログ、または▲/▼ボタンでキャビネット・モデルを選択します。

キャビネット・モデルの種類については、「エフェクト・ガイド」(PDF)を参照してください。

キャビネット・モデルを使用しない場合は、キャビネット・モデル名の左側にあるBYPASSスイッチをオフ(インジケータ消灯)にしてください。

- 4 アンプ/キャビネット・コントロール・パネルのコントロール・ノブでアンプの音色を設定します。

アンプ・パラメーターについては、「エフェクト・ガイド」(PDF)を参照してください。

- 5 エフェクト・ルーティング内のエフェクトをドラッグ&ドロップして、ルーティング・ラインに加えます。また、エフェクトの接続順序を変更する場合もドラッグ&ドロップします。



- 6 設定するエフェクトをクリックして選択します。

アンプ/キャビネット・コントロール・パネルの下に、選択したエフェクトのパネルが表示されます。

- 7 エフェクト・コントロール・パネルの“EFFECT MODEL”でエフェクト・モデルを選択します。



表示されているエフェクト・モデル名をクリックして表示されるカタログ、または▲/▼ボタンでエフェクトを選択します。選択したエフェクト・モデルによって、パネルのデザインが変わります。

また、エフェクト・ルーティングに表示されているエフェクトをダブルクリックしたり、エフェクト名をクリックしてもカタログが表示されます。

エフェクト・モデルの種類については、「エフェクト・ガイド」(PDF)を参照してください。

選択しているエフェクト・モデルを使用しない場合は、エフェクト・モデル名の左側にあるBYPASSスイッチをオフ(インジケータ消灯)にするか、エフェクト・ルーティングでエフェクトをドラッグ&ドロップしてルーティング・ラインから外してください。

- 8 エフェクト・コントロール・パネルのコントロール・ノブでエフェクト・パラメーターを設定します。

設定するパラメーターについては、「エフェクト・ガイド」(PDF)を参照してください。

- 9 他のエフェクト・モデルについても、手順6～7と同様の操作で設定します。

- 10 アンプ・モデルやエフェクト・モデルの設定によっては、JamVOXモニターの出力がクリップすることがあります。その場合は、アンプ・モデルや歪み系のエフェクト・モデルの出力レベルを調整してください。

- 11 他のギター・プログラムと音量に差が出る場合など、音量の調整が必要なときは、エフェクト・ルーティングの右上に表示されているPROG LEVEL (プログラム・レベル)を調整します。

- 12 ユーティリティのSaveボタンまたはSave Asボタンをクリックして、ギター・プログラムを保存します。(p.16)

エディットしたプログラムと元のプログラムを比較する － コンペア機能

エディット中の音色と、エディット前の音色を比較します。

- 1 既存のプログラムを選択してエディットします。
エディットするとプログラム名が斜体になります。

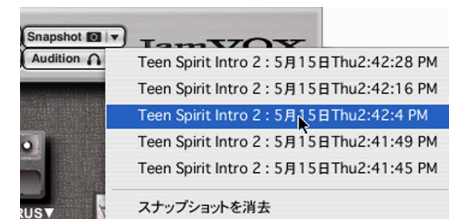


- 2 エディットの途中で、ユーティリティのCompare ボタンをクリックします。
ギター・プログラムがエディット前の設定に戻ります。プログラム名も斜体から元の字體に戻ります。Compare ボタンをクリックするたびに、エディットした音色と元の音色が切り替わります。

現在の設定を一時的に保存する － スナップショット機能

スナップショットは、ギター・プログラムの設定を任意のタイミングで一時的に保存する機能です。音色を仕上げるまでの過程で、いくつかの設定を比較したい場合に、この機能を使って一時的に保存しておき、比較しながら音作りを進めることができます。

- 1 既存のプログラムをエディットします。
- 2 エディットの途中で、ユーティリティのSnapshot ボタンをクリックします。
画面が白く光り、Snapshot ボタンをクリックした時点でのギター・プログラムの設定が、一時的に保存されます。
- 3 Snapshot ボタンの右にある▼をクリックすると、ポップアップ・メニューが表示されます。
メニューには、ギター・プログラム名とスナップショットを実行したときの日時が表示されます。



- 4 メニューからギター・プログラム名/日時を選択します。
ギター・プログラムが、選択した日時に保存された設定になります。

HINT スナップショットで一時的に保存したデータの保存期間の設定やデータの消去は、オプション・メニューの環境設定で行います。(p.36)

ギター・プログラムを保存する

作成またはエディットしたギター・プログラムを保存します。

- ▲ エディットしたプログラムを保存しないで他のプログラムに切り替えると、エディットしたプログラムの状態は消去されます。

上書き保存 Save

ユーティリティのSaveボタンをクリックすると、ライブラリに保存されているプログラムに上書き保存されます。

新規保存 Save As

現在エディット中のプログラムとは別に、ライブラリに新規保存されます。

- 1 ユーティリティのSave Asボタンをクリックします。
プログラム情報等を入力するダイアログが表示されます。
- 2 必要な項目を入力します。
- 3 OKボタンをクリックします。
エディットしたプログラムが新規に保存され、ライブラリに追加されます。

JamVOX-Onlineへギター・プログラムをアップロードする

JamVOXでは自分で作成したギター・プログラムをJamVOX-Onlineにアップロードしたり、他のユーザーがアップロードしたギター・プログラムを検索して、ダウンロードして使うことができます。

ここではギター・プログラムをアップロードする方法を説明します。

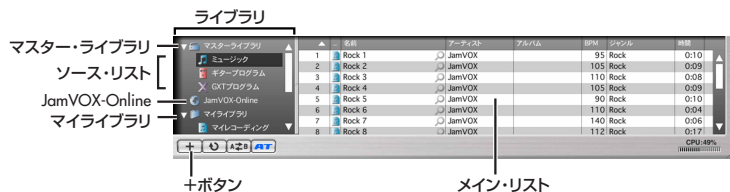
- ▲ JamVOX-Onlineの機能を使用するには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。
- ▲ ギター・プログラムのアップロードを行うには、ユーザー登録が必要です。

- 1 アップロードするギター・プログラムを含んだソース・リストをクリックして選択します。
ギター・プログラムがメイン・リストに表示されます。
 - 2 ギター・プログラムを右クリック (Mac: Controlキー+クリック) して表示されるメニューからアップロードを選択します。
ギター・プログラムの情報が表示されます。
ユーザー登録を行っていない場合は、表示されるダイアログの指示にしたがって登録を行ってください。
 - 3 内容を確認し、必要な場合は修正してOKをクリックすると、ギター・プログラムがアップロードされます。中止する場合はキャンセルをクリックします。
- NOTE** 現在演奏しているギター・プログラムをアップロードするには、プログラム名の右側にあるユーティリティのUploadボタンをクリックしてください。

ライブラリ/リスト

ライブラリ/リストでは、JamVOXへ読み込んだ曲、ギター・プログラム、GXTプログラムのデータやプログラム情報の編集や管理を行います。

各部の名称と機能



ライブラリ

JamVOXで利用する全データを管理します。曲、ギター・プログラム、GXTプログラムの各データは、ソース・リストという単位で管理されます。

マスター・ライブラリ

JamVOXに保存されているすべての曲、ギター・プログラム、GXTプログラムを管理します。「ミュージック」、「ギター・プログラム」、「GXTプログラム」をクリックして選択すると、各データがメイン・リストに表示されます。

ミュージック

JamVOXに読み込んだすべて曲を管理します。

ギター・プログラム

JamVOXのプリセット・ギター・プログラムや、自分で作成したギター・プログラムなど、すべてのギター・プログラムを管理します。

GXTプログラム

JamVOXのGXTプログラムのテンプレートや、自分で作成したGXTプログラムなど、すべてのGXTプログラムを管理します。

JamVOX-Online

JamVOX-Onlineにアップロードされているギター・プログラムやGXTプログラムを検索、試聴、ダウンロードできます。クリックして選択すると、人気のギター・プログラムやGXTプログラムがメイン・リストに表示されます。(※ p.9「JamVOX-Onlineからギター・プログラムをダウンロードする」、p.30「JamVOX-OnlineからGXTプログラムをダウンロードする」)

マイライブラリ

自分が気に入った曲やギター・プログラムなどを集めて管理できます。**+** ボタンをクリックすると、新規のソース・リストを追加できます。

初期設定では「ギタープログラム」、「GXTプログラム」、「リズム・パターン」、「マイレコーディング」、「マイダウンロード」などのソース・リストがあります。

メイン・リスト

ライブラリのソース・リストをクリックして選択すると、そのソース・リストで管理されているデータがメイン・リストに表示されます。

メイン・リストには、データの様々な情報が表示されます。これらの情報は、ファイルメニューで「情報を見る」を選択するか、右クリック (Mac: Controlキー+クリック) し、「情報を見る」を選択して表示される情報ダイアログで編集できます。

データを追加する

オーディオ・データをミュージック・プレーヤーで再生するためには、JamVOXのライブラリに曲を追加する必要があります。

メニューから曲を追加する

- 1 ファイル・メニューから「ライブラリに追加...」を選択します。
ダイアログが表示されます。
- 2 ライブラリに追加する曲を選び、[開く]ボタンをクリックします。または、追加する曲のファイル名をダブルクリックします。
ライブラリに曲が追加され、ミュージックのメイン・リストに表示されます。



ドラッグ&ドロップで曲を追加する

- 1 コンピューターに保存されている曲のファイルをメイン・リストへ直接ドラッグ&ドロップします。
メイン・リストに表示されている項目が曲でなくても、ドラッグ&ドロップした曲はミュージックのライブラリへ追加されます。


CDから曲を読み込む

コンピューターに挿入した音楽CDをデータへ変換し、ライブラリへ追加します。ミュージック・プレーヤーでは以下のオーディオ形式に変換が可能です。

- WAV (.wav/.wave)
- AIFF (.aif/.aiff)
- WMA (.wma) : Windowsのみ対応。
- AAC (m4a) : Macのみ対応。

- 1 コンピューターに音楽CDを挿入します。
 - 2 ファイル・メニューから「CD の読み込み ...」を選択します。
CD 読み込みのダイアログが表示されます。
 -  ダイアログに曲名やアーティスト名等が表示されるのは、バンドルCDのみです。他のCDを読み込む場合は、読み込み後にJamVOXソフトウェアで、曲名やアーティスト名等を入力してください。
 - 3 読み込みたくないトラックをクリックしてチェック・ボックスを外します。
- NOTE** 読み込むオーディオ形式を変更したい場合は、環境設定ダイアログで設定を変更してください。
- 4 ダイアログの右下の「読み込み」ボタンをクリックします。
読み込みが完了するまでしばらくお待ちください。
-  CD/DVDドライブが外付のWindowsコンピューターでは、JamVOXソフトウェアでCDを読み込むことはできません。CDの読み込みが可能な他のソフトウェアで読み込んだ曲をJamVOXソフトウェアに追加してください。

iTunesライブラリの曲を読み込む

- 1 ファイル・メニューから「iTunesライブラリを読み込み」を選択します。
iTunesに読み込まれている全曲がJamVOXのライブラリへ追加されます。
- NOTE** 読み込み曲数によっては時間がかかることがあります。
-  DRM (デジタル著作権管理) で保護された曲は読み込みできません。

ToneLab LEのプログラムを読み込む

VOX ToneLab LEで作成したプログラム・データをJamVOXのライブラリのギター・プログラムへ追加します。

NOTE ToneLab LEのプログラム・データは、あらかじめコンピューターに保存しておく必要があります。詳しくは、ToneLab LEエディターのヘルプをご覧ください。

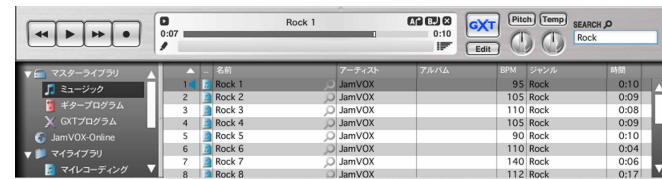
- 1 ToneLab LEエディターのFileメニューの“Export...”または“Save As...”で、エフェクト・プログラム・データ(.tlp)をコンピューターに保存します。
- 2 ファイル・メニューから「ToneLab LEプログラムを読み込み...」を選択します。読み込みファイル選択のダイアログが表示されます。
- 3 ファイルを選択して[開く]ボタンをクリックします。
ToneLab LEのプログラムがライブラリのギター・プログラムへ追加されます。

ライブラリ/リストを使いこなす

データを検索する

キーワードを入力して、自分のコンピューター内またはJamVOX-Onlineからギター・プログラム、GXTプログラム、曲を検索します。

- 1 検索したいソース・リストを選択します。
- 2 SEARCH欄をクリックして選択し、検索に必要な文字を入力します。
文字を入力するたびに絞り込み検索が行われ、メイン・リストに結果が表示されます。




- 3 ダブルクリックすると、その曲やプログラムがライブラリに追加されます。

JamVOX-Onlineの活用

他のユーザーがJamVOX-Onlineにアップロードしたプログラムを検索することができます。

- 1 ライブラリにあるJamVOX-Onlineをクリックして選択します。
メイン・リストに人気のプログラムが表示されます。
- 2 使いたいプログラムが表示されない場合は、SEARCH欄に曲名やアーティスト名を入力してコンピューターのReturnキーを押します。
メイン・リストに検索結果が表示されます。思うような結果が得られない場合はSEARCH欄に入力する項目を変更してみてください。

NOTE お気に入りの曲に合ったプログラムをすばやく検索するには、メイン・リストに表示されている「名前」の右側にある虫メガネ・ボタン  をクリックしてください。「曲名」と「アーティスト」が自動的にSEARCH欄に入力され、簡単にプログラムを検索することができます。

情報を編集する

メイン・リスト上での情報の編集

メイン・リスト中の項目をリスト上で編集します。

- 1 メイン・リスト上で変更したい項目を含む行をクリックします。
- 2 変更する項目をクリックします。
項目が編集可能になります。

	名前	アーティスト	アルバム	BPM	ジャンル	時間
1	Rock 1	JamVOX		95	Rock	0:10
2	Rock 2	JamVOX		105	Rock	0:09
3	Rock 3	JamVOX		110	Rock	0:08
4	Rock 4	JamVOX		105	Rock	0:09
5	Rock 5	JamVOX		90	Rock	0:10
6	Rock 6	JamVOX		110	Rock	0:04
7	Rock 7	JamVOX		140	Rock	0:06
8	Rock 8	JamVOX		112	Rock	0:17

- 3 項目を変更し、Returnキーを押します。

ダイアログでの情報の編集

JamVOXに保存されている曲、ギター・プログラム、GXTプログラムの情報を編集します。ここでは、曲の情報を編集します。

- 1 ライブラリのミュージックを選択し、メイン・リストに表示される曲を選択します。
- 2 曲を右クリックして表示されるメニューから「情報を見る」を選択します。
(Mac: Control キー+クリック)
データの情報ダイアログが表示されます。
ファイル・メニューから「情報を見る」を選択しても情報ダイアログを表示できます。
- 3 情報タブをクリックします。
曲の情報が表示されます。
- 4 曲の情報を編集します。
- 5 編集を終えたら、OKボタンをクリックして情報ダイアログを閉じます。

メイン・リスト上に表示させる項目を設定する

表示する情報を設定します。設定はライブラリごとに保存されます。

- 1 メイン・リストの項目タイトルを右クリックします。(Mac: Control キー+クリック)
表示オプション・リストが表示されます。表示オプション・リストには、表示可能な項目が表示されます。



- 2 表示したい項目を選択し、チェック・マークをつけます。
チェック・マークをつけた項目がリストに表示されます。
チェック・マークを解除すると、その項目はリストに表示されません。

リスト上のデータを並び替える

メイン・リスト内で項目を並べ替えます。並び替えの基準は、ライブラリごとに保存されます。

1 メイン・リストの項目タイトルをクリックします。

クリックした項目を基準に、リスト内のデータが並び替わります。例えば、ミュージックで、「名前」をクリックすると、名前を基準にリストが並び替わります。

	名前	アーティスト	アルバム	BPM	ジャンル	時間
73	16beat 1	JamVOX		110	16beat	0:08
74	16beat 2	JamVOX		90	16beat	0:10
75	16beat 3	JamVOX		120	16beat	0:08
76	16beat 4	JamVOX		104	16beat	0:18
77	16beat 5	JamVOX		116	16beat	0:16
78	16beat 6	JamVOX		120	16beat	0:16
79	16beat 7	JamVOX		92	16beat	0:20
80	16beat 8	JamVOX		112	16beat	0:17

2 右側に表示される三角形をクリックします。

並べ替えの順序が逆になります。

	名前	アーティスト	アルバム	BPM	ジャンル	時間
87	Waltz	JamVOX		100	Waltz	0:07
72	Soul 4	JamVOX		94	Soul	0:10
71	Soul 3	JamVOX		80	Soul	0:12
70	Soul 2	JamVOX		100	Soul	0:19
69	Soul 1	JamVOX		115	Soul	0:16
9	Rock 9	JamVOX		112	Rock	0:17
8	Rock 8	JamVOX		112	Rock	0:17
7	Rock 7	JamVOX		140	Rock	0:06

このように、ジャンルやギタリストなどが一致するライブラリ内の曲を、リスト上でまとめることができます。


NOTE 並び替えの基準となる項目が表示されていない場合は、項目を右クリック (Mac: Controlキー+クリック) して表示されるオプション・リストで表示項目をチェックします (p.20「メイン・リスト上に表示される項目を設定する」)。

ミュージック・プレイヤー

JamVOXには、ミュージック・プレイヤーが内蔵されています。コンピューターに保存されているオーディオ・データを再生したり、ギターの演奏等を録音することができます。

ミュージック・プレイヤーでは以下のオーディオ・データが再生可能です。

- WAV (.wav/.wave)
- AIFF (.aif/.aiff)
- MP3 (.mp3)
- WMA (.wma) : Windowsのみ対応。
- AAC (m4a) : QuickTime7がインストールされている場合に対応。



 DRM (デジタル著作権管理) で保護された曲は再生できません。

ミュージック・プレイヤーには曲のコピーや練習に最適な以下の機能があります。

- 曲間のループ再生
- テンポ・チェンジ機能やピッチ・チェンジ機能
- 曲のギター・パートのキャンセルや抽出/強調が可能なGXT機能
- 曲の再生位置にマーカーを付けて、エフェクトを自動的に切り替えることができるオート・チェンジ機能
- 曲と演奏の録音


曲の再生


ライブラリに追加した曲を選択して再生する

- 1 ライブラリから「マスター・ライブラリ」-「ミュージック」をクリックします。
登録されている曲がメイン・リストに表示されます。
- 2 リストから再生する曲をクリックして選びます。
- 3 PLAY/PAUSE  ボタンをクリック、またはメイン・リストに表示されている曲名をダブルクリックします。
選択した曲が再生されます。再生中は、メイン・リストの一番左側に  が表示されます。
ディスプレイには、再生位置やループ区間を示すプログレス・バーや再生時間などが表示されます。
再生中にPLAY/PAUSEボタンをクリックすると、一時停止します。



曲を巻戻す / 先送りする

再生中に  ボタンをクリックすると、再生中の曲の先頭に戻ります。曲の先頭近くでクリックすると、前の曲の先頭に戻ります。

再生中に  ボタンをクリックすると、次の曲の先頭に移動します。

HINT ディスプレイに表示されているバーをクリックしても、曲の再生位置を移動することができます。

曲の音量などを調節する

Mixerの右のフェーダーで再生中の曲の音量を調整します。

HINT Mixerでは、ギター、マイク、曲の音量バランスを調整します。

再生している曲に低域と高域を強調したいときは、LOUDNESSノブを調節します。

▲ 再生している曲によっては、LOUDNESSノブを上げると歪むことがあります。その場合はフェーダーを下げてください。

曲のピッチを変える

JamVOXでは、再生中の曲に対してテンポを変えずに、ピッチを変えることができます。

Pitchノブでピッチを調節します。

ノブを動かすと、ピッチ・チェンジ機能がオンになります (Pitchボタンが点灯)。

-500セント (-5半音) ~ +500セント (+5半音) の範囲を調節できます。

Pitchボタンをクリックして消灯させると、オリジナルのピッチに戻ります。



曲のテンポを変える

JamVOXでは、再生中の曲に対してピッチを変えずに、テンポを変えることができます。

Tempoノブでテンポを調節します。

ノブを動かすとテンポ・チェンジ機能がオンになります (Tempoボタンが点灯)。-50%~+150%の範囲を調節できます。

Tempoボタンをクリックして消灯させると、オリジナルのテンポに戻ります。



1曲または複数の曲を連続再生する

JamVOXでは、1曲または複数曲を連続して再生することができます。



1曲をリピート再生する



ライブラリの下にあるリピート・ボタン  を2回クリックして、 にします。

リスト中の全ての曲をリピートする

ライブラリの下にあるリピート・ボタン  を1回クリックして、 にします。



曲を区間ループ再生する

ループを開始するところで、ディスプレイ右上にある  ボタンをクリックし、ループを終了するところで  ボタンをクリックします。設定した区間でループ再生します。

ループ区間が  と  のマーカーと、青いバーで表示されます。マーカーをドラッグすると、ループ区間を変更することができます。

NOTE ループ区間は、1曲に1つしか設定できません。



ループの開始ポイントを設定すると、ソース・リストの下のループ・ボタン  が点灯し、リピート・ボタンが  になります。

ループ・ボタンをクリックして消灯させると、ループ再生がオフになります。区間ループの設定は、ループ再生をオフにしても、曲ごとに保持されます。

HINT 環境設定の「一般」-「表示」-「ヒントを表示」をチェックすると、マーカーにカーソルを重ねたときにループ情報が表示されます。


曲の再生中にギター・プログラムを切り替えるーオート・チェンジ機能


オート・チェンジ機能とは、曲の再生中にギター・プログラムやGXTプログラムを自動的に切り替える機能です。

イントロ	Aパート	Bパート	ギター・ソロ
ギター・プログラム1	ギター・プログラム2	ギター・プログラム3	ギター・プログラム4

好きな位置にギター・プログラムやGXTプログラムのオート・チェンジ情報が入ったマーカーを付けていくことによって、曲の再生時にプログラムを自動的に切り替えることができます。マーカーにはギター・プログラムとGXTプログラムのオート・チェンジ情報を入れることができ、一曲に20個まで付けることができます。(区間ループのA-Bマーカーを除く)





マーカーを付ける

メイン・リストのオート・チェンジ  ボタンをクリックすると、現在の再生位置にギター・プログラムやGXTプログラムのマーカーを付けることができます。マーカーを付けると、プログラレス・バーのクリックした位置の下にマーカーのアイコンが表示されます。


ディスプレイの左下にある  ボタンをクリックすると、現在の再生位置に空のマーカー(オート・チェンジ情報のないマーカー)を付けることができます。初めに空のマーカーを付けて、後から情報を追加することもできます。



ギター・プログラムとGXTプログラムのマーカー ギター・プログラムのマーカー GXTプログラムのマーカー

-  : 空のマーカー(オート・チェンジ情報がないマーカー)
-  : ギター・プログラムのマーカー
-  : GXTプログラムのマーカー
-  : ギター・プログラムとGXTプログラムのマーカー

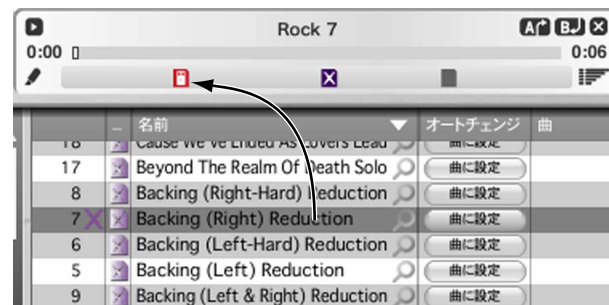
HINT 環境設定の「一般」-「表示」-「ヒントを表示」をチェックすると、マーカーにカーソルを重ねたときにオート・チェンジ情報が表示されます。

マーカーを付けるとオート・チェンジ機能がオンになり、ライブラリの下にあるオート・チェンジ・ボタン  が点灯します。クリックして消灯させると、オート・チェンジ機能がオフになります。


マーカーをエディットする

メイン・リスト表示されているギター・プログラムやGXTプログラムを、オート・チェンジ情報のあるマーカーや空のマーカーにドラッグ&ドロップすることで、オート・チェンジ情報を書き替えたり、追加することができます。マーカーはドラッグして、位置を移動することができます。

また、マーカーを右クリック(Mac: Controlキー+クリック)して表示されるメニューからマーカーの選択、移動、削除などの様々な機能を実行することができます。



マーカー・リストでマーカーを細かくエディットする

ディスプレイの右下にある  ボタンをクリックすると、マーカー・リストが表示されます。マーカーのオート・チェンジ情報や区間ループの情報を細かくエディットできます。

マーカーリスト						
マーカー	時刻	ギタープログラム	GXTプログラム	コメント	ループ	プレビュー
1	0:00.00	-	-	-		試聴
2	0:03.56	AC30TB Lead	-	GXTをオン		試聴
3	0:06.98	Fire	Solo (Right) Reduction	-		試聴
4	0:09.49	-	Backing (Left-Hard) Reduction	-		試聴
5	0:11.59	Eruption	-	GXTをオフ		試聴
6	0:14.43	-	Backing (Left) Reduction	-		試聴
7	0:16.94	Sweetheart Tone	-	GXTをオフ		試聴
8	0:19.45	Octave Crunch	Backing (Right) Reduction	GXTをオン		試聴
9	0:20.87	-	-	-		試聴

マーカー・リストには、オート・チェンジ情報、区間ループの情報が表示されます。メイン・リストに表示されているギター・プログラムやGXTプログラムを、マーカー情報の行にドラッグ&ドロップすることで、オート・チェンジ情報を書き替えたり、追加することができます。また、時間の情報は、クリックして選択し、コンピューターのキーボードから直接時間を入力できます。プレビューの[試聴]ボタンをクリックすると、設定ポイントの少し前から再生を開始して、設定の状態を確認することができます。



レコーディング

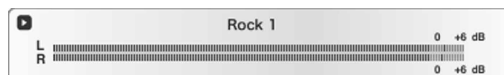
JamVOXでは、自分の演奏を録音することができます。










ここでは、曲を再生しながらギターを演奏したものを録音してみましょう。


- 1 Mixerセクションで以下の設定になっているかを確認します。
左側のRecボタン (Guitar) と右側のRecボタン (Music) が点灯していることを確認します。点灯していない場合は、クリックして点灯させます。
Recボタンの下にあるGuitarボタンとMusicボタンが点灯していることを確認します。点灯していない場合は、クリックして点灯させます。

NOTE 中央のRecボタンとMicボタンは、マイク用のボタンです。ここでは、ボタンの状態はどのようになっているともかまいません。

- 2 ディスプレイ内左上にある  をクリックしてレコーディング・レベル・メーターを表示させます。
- 3 録音レベルを調整します。 ボタンをクリックして曲を再生し、ギターを弾きます。レベル・メーターを見ながら、ギターと曲のレベルをミキサーの各フェーダーで調整します。一番高い音量レベルがメーターのメモリの0の位置にくるようにレベルを調整してください。



- 4 録音レベルの調整が終了したら、 ボタンをクリックして停止させます。
- 5  ボタンをクリックして、曲の先頭に戻します。
- 6  ボタンをクリックして曲を再生し、録音を開始する位置にきたら  ボタンをクリックします。または、プログレス・バーをクリックして録音開始位置に移動し、 ボタンをクリックして録音待機状態 ( ボタンの中央が点滅) にしてから  ボタンをクリックして録音を開始します。
録音を開始します。再生する曲に合わせてギターを弾いてください。
録音中は、 ボタンの表示が  に変わります。

- 7 演奏し終わったところで  ボタンをクリックして録音を終了します。
録音したデータは、自動的にライブラリに追加され、コンピューターのマイレコーディング・フォルダに保存されます。
録音データの形式は、WAV、AIFF、WMA (Windowsのみ対応)、AAC (Macのみ対応) を選択することができます。フォーマットの選択は、環境設定で行います。(p.36)

GXT (Guitar XTracktion) 機能

GXT: Guitar XTracktion は、既成の楽曲から任意のギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調することができる、コルグが開発した革新的なテクノロジーです。

簡単な操作で、好きな曲のギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調することができますので、ギター演奏や練習に役立てていただけることでしょう。ここでは、GXTをより効果的にお使いいただくために、各機能について説明します。

▲ GXTは、音の「定位」と「周波数帯域」を特定することによって機能します。従って、モノラルの曲では効果がありません。また、同じ定位/周波数帯域の他の音もキャンセルされます。また、ギター・パートのミックスのされ方によっては、効果がわかりにくい曲もあります。

GXTのパラメーター

ミュージック・プレーヤー

GXTボタン

GXT: Guitar XTracktion効果をオン/オフします。



Editボタン

GXTエディット・パネルを表示/非表示します。

GXTボタンとEditボタンの両方がオフの状態、GXTボタンをオンにすると、Editボタンも自動的にオンになります（環境設定で無効にすることが可能です）。



GXTエディット・パネル



Reduceボタン

ギター・パートをキャンセルする場合にオンにします。

Extractボタン

ギター・パートを抽出/強調する場合にオンにします。





グラフ

キャンセルまたは抽出/強調するエリアのイメージ・グラフです。グレー・エリアがキャンセルされる領域です。グラフをマウスでドラッグすることによって「DIRECTION」、「WIDTH」（□のオブジェクト）、「GAIN」を調整することができます。

TARGET GUITAR FREQ. BANDSスライダー

キャンセルまたは抽出/強調したいギター・パートの周波数帯域を設定します。対象とする音の最低周波数を左のLOスライダー、最高周波数を右のHIスライダーで設定します。

AREA ボタン

-  : 曲の左側に定位しているギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調する場合に選択します。
-  : 曲の中央に定位しているギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調する場合に選択します。
-  : 曲の左右両側に定位しているギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調する場合に選択します。
-  : 曲の右側に定位しているギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調する場合に選択します。

DIRECTION スライダー

ギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調するエリアの定位を調整します。

WIDTH スライダー

ギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調するエリアの幅を調整します。

GAIN スライダー

ギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調するエリアのゲインを調整します。

HINT グラフやスライダーの細かい調整は、コンピューターの上下左右カーソル・キーを使用すると便利です。

GXTの設定方法

ギター・パートをキャンセルする

GXTでギター・パートをキャンセルする場合のベーシックな設定方法を説明します。

- 1 曲を再生し、キャンセルしたいギター・パートが曲のどこ(左側、中央、右側、左右両側)に定位しているのかを確認してください。
ヘッドホンを使用するとわかりやすいでしょう。
- 2 キャンセルしたいギター・パートの定位がわかったら、GXTボタンを押してください。
GXT効果がオンになり、GXTエディット・パネルが表示されます。
- 3 GXTエディット・パネルの左にあるテンプレート・リストから、キャンセルしたいギター・パートの定位のものをダブルクリックしてください。
テンプレートの設定が、GXTエディット・パネルと再生音に反映されます。
テンプレートは、以下の10種類が用意されています。
 - 01 Solo (Center-Wide) Reduction:**
ギター・ソロの多くは中央に定位していますので、このテンプレートが有効になるでしょう。
 - 02 Solo (Center-Narrow) Reduction:**
ギター・ソロがあまり左右に広がっていない場合は、ギター以外の音への影響が少ない、このテンプレートを使用してみてください。
 - 03 Solo (Left) Reduction:**
左寄りのギター・ソロをキャンセルするためのテンプレートです。
 - 04 Solo (Right) Reduction:**
右寄りのギター・ソロをキャンセルするためのテンプレートです。
 - 05 Backing (Left) Reduction:**
左側のバックিং・ギターをキャンセルするためのテンプレートです。
 - 06 Backing (Left-Hard) Reduction:**
左側のバックিং・ギターが低音/高倍音をともなったヘビー・サウンドの場合、このテンプレートが有効です。

07 Backing (Right) Reduction:

右側のバックিং・ギターをキャンセルするためのテンプレートです。

08 Backing (Right-Hard) Reduction:

右側のバックিং・ギターが低音/高音をともなったヘビー・サウンドの場合、このテンプレートが有効です。

09 Backing (Left & Right) Reduction:

左右両側のバックিং・ギターをキャンセルするためのテンプレートです。

NOTE 一般的に、バックিং・ギターの音は中央にも広がっています。左右両側の音をキャンセルしても中央の音が残るため、あまり劇的な効果は得られないでしょう。

10 Vocal (Center) Reduction:

一般的に、ボーカルはギター音より対象となる周波数帯域が広く、左右に広がっています。ボーカルをキャンセルしたい場合は、このテンプレートを基にパラメーターの調整を行ってください。

4 対象とするギター・パートのキャンセル効果がおわかりいただけだと思います。より良いキャンセル効果を得たい場合は、“TARGET GUITAR FREQ. BANDS”や“DIRECTION”、“WIDTH”、“GAIN”を使用して、曲に応じた調整を行ってください。

まず、対象とするギター・パートのキャンセル効果を聴きながら、グラフとスライダーを使って、“DIRECTION”、“WIDTH”、“GAIN”の最も効果的な設定を探ります。

次に、TARGET GUITAR FREQ. BANDSスライダーで、対象とするギター・パートの周波数帯域を設定します。

“TARGET GUITAR FREQ. BANDS”の設定は、次のように行うのが良いでしょう。

LOスライダー: Extractボタンを押し、抽出/強調されたギター・パートを試聴しながら、ベース・パートの音が聴こえない周波数まで下げます。そして、Reduceボタンを押し、ギター・パートの低音のキャンセル具合に応じて、周波数を上下させて調整します。

HIスライダー: Extractボタンを押し、抽出/強調されたギター・パートを試聴しながら、ハイハットやスネアのアタック等ができるだけ聴こえない周波数まで下げます。そして、Reduceボタンを押し、ギター・パートができるだけキャンセルされるように周波数を上げて行きます。この作業を繰り返して調整します。

HINT GXTのパラメーター調整を行う場合、ドラムの音に与える影響を最小限に留めることが、自然なキャンセル効果を得るためのポイントです。例えば、“WIDTH”を広く設定した場合は、HIスライダーの値をできるだけ下げてハイハットを効果対象外に逃がしてください。逆に“WIDTH”が狭い場合は、グレー・エリア外にハイハットの音が残っていますので、HIスライダーをある程度上げることができます。

ギター・パートの抽出/強調


上記設定の後、Extractボタンを押すと、対象とするギター・パートを抽出/強調することができます。

フレーズの聴き取り等で、より良い抽出/強調効果を得たい場合は、「ギター・パートをキャンセルする」の設定方法を参考に、“TARGET GUITAR FREQ. BANDS”や“DIRECTION”、“WIDTH”、“GAIN”を調節してください。

HINT ピッチを変えずに再生テンポを落とすことができるテンポ・チェンジ機能を併せて使うと、フレーズのコピーや練習に効果的です。

GXTプログラムを保存する

作成またはエディットしたGXTプログラムを保存します。

 エディットしたプログラムを保存しないで、他のプログラムに切り替えると、エディットしたプログラムの状態は消去されます。

上書き保存 Save

GXTエディット・パネルのSaveボタンをクリックすると、ライブラリに保存されているプログラムに上書き保存されます。

新規保存 Save As



現在エディット中のプログラムとは別に、ライブラリに新規保存されます。

- 1 GXTエディット・パネルのSave Asボタンをクリックします。
プログラム情報等を入力するダイアログが表示されます。
- 2 必要な項目を入力します。
- 3 OKボタンをクリックします。
エディットしたプログラムが新規に保存され、ライブラリに追加されます。


JamVOX-OnlineからGXTプログラムをダウンロードする

JamVOXでは自分で作成したGXTプログラムをJamVOX-Onlineにアップロードしたり、他のユーザーがアップロードしたGXTプログラムを検索し、ダウンロードして使うことができます。

ここではGXTプログラムをダウンロードする方法を説明します。

-  JamVOX-Onlineの機能を使用するには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。
-  GXTプログラムの試聴やダウンロードを行うには、ユーザー登録が必要です。
ユーザー登録を行っていない場合は検索のみ行えます。

- 1 ライブラリにあるJamVOX-Onlineをクリックして選択します。
メイン・リストに人気のギター・プログラムやGXTプログラムが表示されます。
- 2 使いたいプログラムが表示されない場合は、SEARCH欄に曲名やアーティスト名を入力して、コンピューターのReturnキーを押します。
メイン・リストに検索結果が表示されます。思うような結果が得られない場合は、SEARCH欄に入力する項目を変更してみてください。


NOTE お気に入りの曲に合ったGXTプログラムをすばやく検索するには、メイン・リストに表示されている「名前」の右側にある虫メガネ・ボタン  をクリックしてください。「曲名」と「アーティスト」が自動的にSEARCH欄に入力され、簡単にGXTプログラムを検索することができます。


- 3 表示されたプログラムをダブルクリックすると試聴ができます。
ユーザー登録を行っていない場合は、表示されるダイアログの指示にしたがって登録を行ってください。
- 4 気に入った場合は、メイン・リストに表示されているプログラムのダウンロード・ボタンをクリックすると「マイダウンロード」にプログラムが保存されます。

JamVOX-OnlineへGXTプログラムをアップロードする

JamVOXでは自分で作成したGXTプログラムをJamVOX-Onlineにアップロードしたり、他のユーザーがアップロードしたGXTプログラムを検索して、ダウンロードして使うことができます。

ここではGXTプログラムをアップロードする方法を説明します。

 JamVOX-Onlineの機能を使用するには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

 GXTプログラムのアップロードを行うには、ユーザー登録が必要です。

- 1 アップロードするGXTプログラムを含んだソース・リストをクリックして選択します。
GXTプログラムがメイン・リストに表示されます。
- 2 GXTプログラムを右クリック (Mac: Controlキー+クリック) して表示されるメニューからアップロードを選択します。
GXTプログラムの情報が表示されます。
ユーザー登録を行っていない場合は、表示されるダイアログの指示にしたがって登録を行ってください。
- 3 内容を確認し、必要な場合は修正してOKをクリックすると、GXTプログラムがアップロードされます。中止する場合はキャンセルをクリックします。

オプション・ペダル/スイッチの設定

ペダルによるコントロール

JamVOXでは、JamVOXモニターに接続したオプション（別売）のエクスペッション・ペダルやフット・スイッチで、様々な機能をコントロールすることが可能です。

エクスペッション・ペダルの設定

JamVOXモニターに接続したオプションのコルグEXP-2コントローラーで、どのエフェクトをどのようにコントロールするかをプログラムごとに設定できます。

HINT エクスペッション・ペダルにパラメーターをアサインして操作することは、ノブの代わりにペダルでエディットすることと同様です。SaveやSave Asで保存すると、そのときのペダル位置の音色で保存されます。ただし、エクスペッション・ターゲットが“OFF”、モジュレーションの“PITCH”、ディレイの“INPUT”（ディレイへの入力レベルをコントロール）、リバーブの“INPUT”（リバーブへの入力レベルをコントロール）、は、ギター・プログラムのパラメーターをエディットすることにはなりません。また、ディレイ・エフェクトとリバーブ・エフェクトには、“INPUT”パラメーターはありません。

エクスペッション・ペダルへのパラメーターのアサイン

エクスペッション・ペダルにエフェクトのパラメーターをアサインします。ここでは、モジュレーション・エフェクトPITCH SHIFTERの“PITCH”パラメーターをペダルにアサインします。

- 1 モジュレーション・エフェクトにPITCH SHIFTERを選びます。
- 2 ユーティリティのPedalボタンを押します。
FOOT SWITCHとEXPRESSION PEDAL
の設定画面が表示されます。



- 3 EXPRESSION PEDALの“TARGET”をクリックして表示されるメニューから、PITCH SHIFTER - PITCHを選びます。
- 4 エクスペッション・ペダルのMAX値（踏み込んだときの値）とMIN値（戻したときの値）を設定します。
設定画面のペダルを上下にドラッグすると、動作を確認できます。

NOTE EXPRESSION PEDALの“TARGET”を変更すると、“MIN”と“MAX”の値は初期化されます。

- 5 Pedalボタンをクリックして設定画面を閉じます。
設定を保存する場合は、SaveボタンまたはSave Asボタンをクリックします。
保存しないで他のプログラムに切り替えたり、JamVOXを終了すると、設定した内容は消えてしまいます。

ここに挙げた以外にも、エフェクト・モデルごとに決められた数多くのエフェクト・パラメーターを、エクスペッション・ペダルに自由にアサインすることができます。

NOTE エクスペッションにアサインされているパラメーターのエフェクト・モデルを変更すると、“TARGET”パラメーターは初期化され、“OFF”になります。（ただし、アンプの“GAIN”または“VR GAIN”、ディレイの“INPUT”、リバーブの“INPUT”のときを除く）

HINT ペダル・エフェクト1または2のエフェクト・モデルにVOX WAHを選んだときは、エクスペッション・ペダルの機能にMANUAL（ワウの開き具合）が自動的に設定されます。このとき、他の操作をせずにペダル・エフェクトを他のモデルに変更すると、“TARGET”、“MIN”、“MAX”の設定も自動的に元に戻ります。（ただし、ペダル・エフェクトの機能をアサインしたときは、元に戻らず“OFF”になり初期化されます。）

ペダルの感度の調整

エクスプレッション・ペダルのMIN/MAXが、それぞれ最小/最大に設定されているにも関わらず、踏み込んだときにエフェクト効果や音量が最大にならなかったり、戻したときにエフェクト効果や音量が最小にならない場合は、次のようにエクスプレッション・ペダルが最適に動作するように感度を調整してください。

NOTE 接続したEXP-2コントローラーのミニマム・ボリュームは、0の位置に設定してください。

NOTE 感度を調整するときは、エクスプレッション・ペダルを必ず手で操作してください。足で操作すると正確に調整できないことがあります。

1 EXPRESSION PEDALの下にあるCalibrationボタンをクリックします。
キャリブレーション設定の画面が表示されます。

2 画面の指示に従って操作してください。



フット・スイッチの設定

JamVOXでは、JamVOXモニターに接続したVOX VFS-2フット・スイッチで、様々なパラメーターをコントロールすることが可能です。

ここでは、フット・スイッチにプログラムのアップ/ダウンをアサインする方法と、タップ・テンポ機能をアサインする方法を説明します。

フット・スイッチにギター・プログラムのアップ/ダウンをアサインする

1 ユーティリティのPedalボタンを押します。
FOOT SWITCHとEXPRESSION PEDALの設定画面が表示されます。
2つあるスイッチにそれぞれ、プログラム・アップとプログラム・ダウンを割り当てます。

2 FOOT SWITCHで“ASSIGN PROGRAM UP/DOWN”をクリックして選びます。
左のスイッチがプログラム・ダウン、右のスイッチがプログラム・アップです。

設定画面のフット・スイッチをクリックすると動作を確認できます。

NOTE フット・スイッチにプログラムのアップ/ダウンをアサインすると、エフェクト・パラメーターの機能はアサインできません。



タップ・テンポ機能を使ってパラメーターを設定する

モジュレーション・エフェクトの“Speed”パラメーターや、ディレイ・エフェクトの“Time”パラメーターをフット・スイッチにアサインします。フット・スイッチを複数回踏んだときの間隔で、LFOのスピードやディレイ・エフェクトのディレイ・タイムを設定できます。

ここでは、フット・スイッチにディレイ・エフェクトの“Time”パラメーターをアサインします。あらかじめ、ディレイ・エフェクトをオンにしてください。

- 1 ディレイ・エフェクトで、フット・スイッチにパラメーターをアサインするエフェクト・モデルを選択します。
- 2 ユーティリティのPedalボタンを押します。
FOOT SWITCHとEXPRESSION PEDALの設定画面が表示されます。

- 3 FOOT SWITCHで“ASSIGN BYPASS/EFFECT PARAMETER”をクリックして選びます。

- 4 FOOT SWITCHの“TARGET”パラメーターをクリックして表示されるメニューからDELAY TAP (TIME)を選びます。

- 5 “FACTOR”でスイッチを踏んだ間隔の倍率を設定します。

“FACTOR”パラメーターの設定にしたがって、実際にスイッチを踏んで設定した間隔の1/6、1/4、1/3、1/2、2/3、3/4、1、4/3、3/2、2、3、4倍の長さで各パラメーターが設定されます。

NOTE TAPの間隔は最大で10秒です。

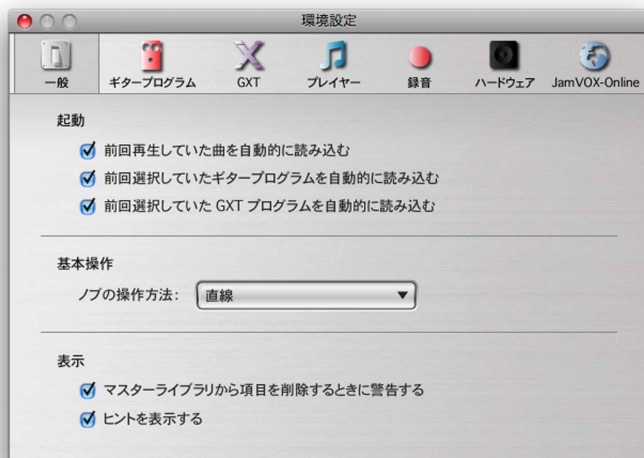
NOTE “TARGET”にMODULATION TAPとDELAY TAP以外を選択したときは、“FACTOR”は無効になります。また、“TARGET”を変更すると、“FACTOR”は1に初期化されます。



- 6 Pedalボタンまたは設定画面右上のⓧをクリックして設定画面を閉じます。
設定を保存する場合は、ギター・プログラムのSaveまたはSave Asを実行します。保存しないで他のプログラムに切り替えたり、JamVOXを終了すると、設定した内容は消えてしまいます。

環境設定

環境設定では、JamVOXソフトウェアの画面表示やノブ等の操作方法などを、ご自分の環境や好みに合わせて設定できます。
オプション・メニューの「環境設定」を選択して表示される環境設定ダイアログで、タブをクリックしてページを選び、各設定を行います。



一般

起動

前回再生していた曲を自動的に読み込む

JamVOXソフトウェアを起動したときに、前回再生した曲を自動的に読み込みます。

前回選択していたギター・プログラムを自動的に読み込む

JamVOXソフトウェアを起動したときに、前回選択していたギター・プログラムを自動的に読み込みます。

前回選択していた GXT プログラムを自動的に読み込む

JamVOXソフトウェアを起動したときに、前回選択していたGXTプログラムを自動的に読み込みます。

基本操作

ノブの操作方法

ノブの操作方法を選択します。

直線: ノブを上下にドラッグして操作します。初期設定はこの設定です。

回転: ノブを回すようにドラッグして操作します。

表示

マスターライブラリから項目を削除するときに警告する

マスター・ライブラリのリストに表示される曲、ギター・プログラム、GXTプログラムを削除するときに、確認のダイアログを表示します。

ヒントを表示する

ノブやスイッチなどにカーソルを合わせると、簡単な説明やパラメーターの値が表示されます。

ギター・プログラム

スナップショット機能

終了時にスナップショットを消去する

JamVOXソフトウェアを終了するときに、保存されているスナップショットが消去されます。

スナップショットの保存期間

スナップショットの保存期間を設定します。

今すぐ消去

クリックすると、現在保存されているスナップショットが消去されます。

NOTE スナップショットは最大100個まで保存することができます。それを超えると古いデータから順番に消去されます。

GXT

GXTプログラムとギター出力の定位をリンクする

GXTプログラムの“DIRECTION”と“AREA”パラメーターの設定に応じて、MIXERのギター出力の“PAN”がリンクして変わります。GXT機能を使ってキャンセルしたギター・パートの位置にあなたのギター演奏を重ねることができます。

GXTエディット・パネルを自動的に表示する

GXTボタンをオンにしたとき、またはGXTプログラムをロードしたときに、エディット・パネルを表示します。

プレイヤー

ピッチ・チェンジ機能

ピッチ・チェンジ機能を自動的にオンにする

ピッチ・チェンジ機能がオフのときにPitchノブを操作すると、ピッチ・チェンジ機能が自動的にオンになります。

テンポ・チェンジ機能

テンポ・チェンジ機能を自動的にオンにする

テンポ・チェンジ機能がオフのときにTempoノブを操作すると、テンポ・チェンジ機能が自動的にオンになります。

録音

オーディオ形式

録音するデータの形式を WAV、AIFF、WMA (Windowsのみ)、AAC (Macのみ) から選択します。

音質

録音するデータの音質を設定します。オーディオ形式にWMA (Windowsのみ)、AAC (Macのみ)を選択している場合のみ有効です。

NOTE これらの設定は、音楽CDを読み込んだときにも適用されます。

最大録音時間

録音の最大時間を設定します。

録音時にメトロノームの音を含める

録音時にメトロノームを鳴らしている場合に、その音も一緒に録音することができます。

ハードウェア

レスポンスを設定

ギターを演奏してから音が出るまでが遅いと感じる場合は「速く」に設定してみてください。音が途切れたりノイズが混じったりする場合は「遅く」に設定してみてください。

JamVOX-Online

JamVOXアカウント

JamVOXアカウントの確認やJamVOX-Onlineへのログインなどを行います。

ログイン

JamVOX-Onlineに接続します。あらかじめユーザー登録が済んでいる必要があります。

アカウントを作成する

JamVOXアカウントの作成とユーザー登録を行います。起動するWebブラウザで登録を行います。



VOX AMPLIFICATION LTD. 9 Newmarket Court, Kingston, Milton Keynes, MK10 OAU, UK <http://www.voxamps.com/>